

さまざまなアプリケーションに対応したExcel®ファイル生成機能

ExcelCreator 2012は、次のExcel®ファイル生成機能を提供します。

Excel®ファイルを新規作成

プログラムからExcel®ファイルを新規に生成することができます。

既存のExcel®ファイルをオープン

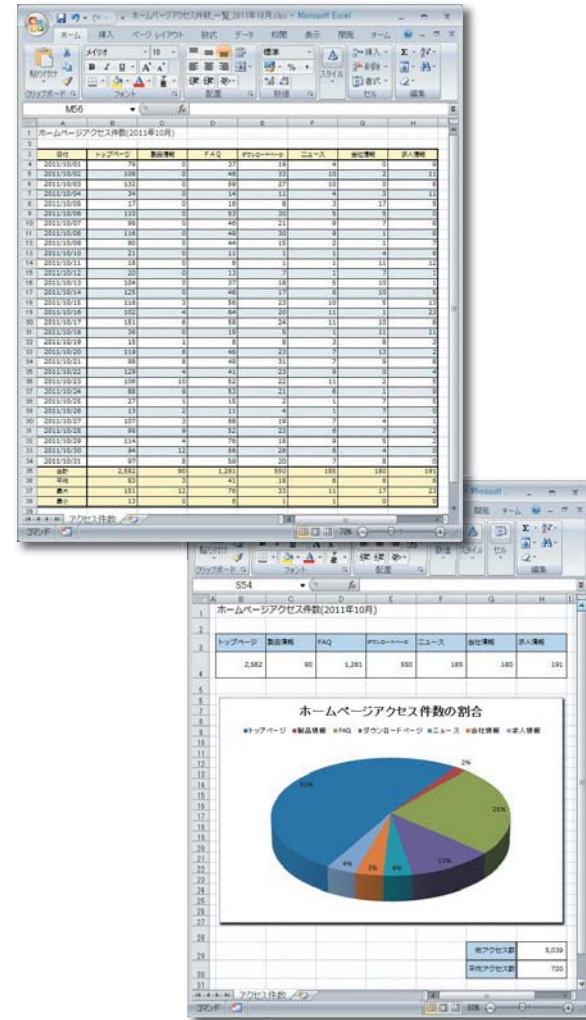
プログラムからExcel®ファイルをオープンし、セルの値の読み取りや、セルに値や書式を設定して上書き保存することができます。セルの値の読み取りのみを行う場合、読み取り専用でオープンすることもできます。

オーバーレイオープン

Excel®であらかじめ罫線などの枠組み(テンプレート)だけを設定しておき、プログラムからはテンプレートに対してデータだけを設定して別のExcel®ファイルに保存する機能です。テンプレートはエンドユーザーが作成することもできるので、ニーズに合った開発ができます。また、オーバーレイオープンに使用するテンプレートのExcel®ファイルは、プログラムに埋め込んで使用することもできます。

PDFファイル出力に対応(.NET版)

新規作成、オープン、オーバーレイオープンしたExcel®ファイルは、そのままのイメージでPDFファイルに出力することもできます。



Excel®ファイルを高速生成/実行環境にExcel®は不要

ExcelCreator 2012は、独自技術により Excel®なしで高速に Excel®ファイルを生成します。

処理速度例*

例1) 10列×1,000万行(1万セル)の明細を出力

Excel Object	約9秒
ExcelCreator 2012	約0.4秒

例2) 20列×5,000万行(10万セル)の明細を出力

Excel Object	約77秒
ExcelCreator 2012	約1秒

サーバーなどで Excel®がインストールされていない環境でも、Excel®ファイルを生成するアプリケーションを構築できます。

※ExcelCreator 8.0 for .NETの処理速度です。また、処理速度は、マシンスペックやデータ形式により異なります。
OS: Windows® 7 Ultimate 32bit, CP: Intel® Core2 Duo 3.00GHz, メモリ: 3GB の実行マシンでの結果です。

シンプルなコーディングでExcel®ファイルを簡単に生成

ExcelCreator 2012によるExcel®ファイルの生成は、たった3段階のコーディングで実現可能です。

コーディング例(C#)

```
// ① Excel®ファイル(NewBook.xlsx)を新規作成
xlsxCreator1.CreateBook("C:\NewBook.xlsx", 3, xlsxVersion.ver2010);
// ② A1 セルに値を差し込み
xlsxCreator1.Cell("A1").Value = "アドバンスソフトウェア株式会社";
// ③ Excel®ファイルをクローズ
xlsxCreator1.CloseBook(true);
```

豊富なセルの指定方法

値を差し込むセルの指定は、"A1 参照形式"、"座標形式"、"セルの名前"、"変数名"の4つの方法を使用することができます。

コーディング例(C#)

```
// A1 参照形式
// セル位置を "A1" のように直接文字列で指定できます。
xlsxCreator1.Cell("A1").Value = 1000;

// 座標形式
// セル位置を(0, 0)のように座標形式で指定できます。
xlsxCreator1.Pos(1, 1).Value = 1000; // B2 セルに 1000 を設定

// セルの名前
// Excel® の名前ボックスに入力したセルの名前で指定できます。テンプレートで名前位置を
// 変更すれば、プログラムを変更せずにデータの設定位置を変えることができます。
xlsxCreator1.Cell("金額").Value = 1000;

// 変数名
// セルに設定した特定のキーワード文字列 (デフォルトで"***") から始まる文字列(例:"**金額")で指定できます。
// テンプレートで変数名の位置を変更すれば、プログラムを変更せずにデータの設定位置を変えることができ、
// さらに複数のセルに同じデータを設定したい場合などに便利な機能です。
xlsxCreator1.Cell("**金額").Value = 1000;
```

シート、セルの操作

値の差し込み以外に、シートごとのページ設定、セルの罫線や背景色などのセル書式、図、オートシェイプの設定が可能です。また、セル、行、列、それぞれの単位でのコピー、クリアや、シートのコピー、削除の機能も提供します。

新機能※1

パフォーマンスの向上を実現 **New!**

ExcelCreator 6.0 for .NETと比べてメモリ消費量を小さく抑える設計で、Excel®ファイル生成の処理速度を向上しました。また、Excel®ファイル生成時の動作モードとして、よりメモリ消費量を抑えるモード※2を追加し、大量のデータを扱う処理にも対応しています。

コードデザイナー **New!**

複数のセルに書式やデータを設定する場合、Excel®がインストールされた環境では、新しく追加されたコードデザイナー上にExcel®から直接目的のセルをドラッグ&ドロップし、展開したそれぞれのセルに対して必要なデータや表示形式、罫線、背景色等を設定して、ソースコードを自動生成することができます。

100%マネージコード **New!**

100%マネージコードで実装したコンパクトなコンポーネントなので、プラットフォームに依存しないアプリケーションを開発することができます。

※1 新機能は、ExcelCreator 8.0 for .NET のみ対応しています。

※2 このモードはプログラム中で選択できます。また、このモードを使用する場合、コピー処理などの機能に一部制限があります。